

# MSK<sup>EM</sup>で シリーズ 畜舎の環境浄化。

MSKシリーズは、有用微生物群(EM)を主体にしたもので臭気防止、有機物の発酵分解、腐敗菌の増殖抑制などの働きにすぐれています。

## MSK<sup>EM</sup>101 乳酸菌・酵母

殺菌作用と有機物の発酵的分解を促進

## MSK<sup>EM</sup>102 放線菌及び酵素

腐敗菌の増殖抑制と有機物の分解

## MSK<sup>EM</sup>103 光合成細菌主体

有害ガスの分解を促進

## 添加材 “糖蜜”

有機微生物群の工サと展着効果



### MSKシリーズ施用効果

- ① 散布後2週間目頃から、悪臭が和らぎ1ヶ月ごろから大幅な緩和が確認できる。
- ② 糞及び尿など肥料としての完熟期間が大幅に短縮され、良質の有機肥料となる。
- ③ 排水溝のこびりついた汚物が軟化、除去され排水がスムーズになる。
- ④ 浄化槽などの表面に張っているスカムや固まりが軟化する。  
**注意点** スカムが急激にはがれて排水を詰まらせる事があります。
- ⑤ 長期使用により安定した浄化が可能になる。

製造元



有限会社 **サン興産業**

〒902-0074 沖縄県那覇市仲井真272-1  
TEL.098-832-3555  
FAX.098-832-3556  
URL <http://www.saion-em.co.jp/>  
E-mail : info @saion-em.co.jp

取扱店

● 沖縄県那覇市仲井真272-1  
● 沖縄県那覇市仲井真272-1  
● 沖縄県那覇市仲井真272-1  
● 沖縄県那覇市仲井真272-1

# 畜産用/MSK<sub>EM</sub>101・102・103

## 活性液の作り方

- MSK(EM)糖蜜の合計量の約10~20倍の水量に混合希釈して密閉状態で5~7日培養する。活性液は保存性がないため使い切る事。

### 1.MSK(EM)活性液

活性液とは…  
EM菌を活性化した状態

	10倍	20倍
MSK(EM)101	1ℓ	1ℓ
MSK(EM)102	0.5ℓ	0.5ℓ
MSK(EM)103	0.5ℓ	0.5ℓ
糖蜜	0.5ℓ	1ℓ
水	7.5ℓ	17ℓ
計	10ℓ	20ℓ

密封容器で1週間程発酵させる。

## 活性液の使い方

### 2.活性液に、2号・3号を混合(強化液)して、水で薄めて使用する

強化液とは…  
乳酸菌(単独菌)に2号、3号を入れた複合菌の状態

活性液	10ℓ	20ℓ
MSK(EM)102	0.5ℓ	0.5ℓ
MSK(EM)103	0.5ℓ	0.5ℓ

混合して50倍~200倍程度に薄めて散布。

臭いの強い場合	50倍~100倍	約3ヶ月
臭いの弱い場合	100倍~200倍	約半年

複合菌にした場合、現場に適した微生物が優位になり高い効果が得られます。

## 堆肥散布処理の目安

- ① 1tの堆肥に対して、強化液 1ℓを50ℓ~100ℓの水に薄めて散布する。
- ② 堆肥の水分を60%程度にする。
- ③ 切り返しを月/1~2回程度行う。

- 1, 畜舎への散布使用量は、m<sup>2</sup>当たり0.3~0.5ℓを散布。
- 2, 強化液を使用水に混合希釈して散布。
- 3, 臭いの発生源である家畜の排泄物や畜舎、天井、壁、通路など周辺にまんべんなく散布します。(家畜に直接散布も可、但し保温している場合はさける事)
- 4, 散布は週に1回、できれば3日に1回行う。

### 飲水添加

- 1, MSK<sub>EM</sub>101, 102を5,000~10,000倍に希釈して直接与える。

※ 散布と併用すると、悪臭がより効果的に緩和されます。

### 飼料添加

- 1, MSK<sub>EM</sub>シリーズ、糖蜜で米ヌカ等を発酵させたボカシ飼料を作り、配合飼料に1~3%添加して与える。



- 注意事項
- 使用量は家畜の頭数(羽数)や畜舎面積によって異なります。
  - 水道水は、溜水をしてから使用してください。
  - 消毒液の使用は控えてください。
  - 詳しいことは当社へご連絡ください。一定期間施工指導します。





